

好生館だより

KOSEIKAN DAYORI

2017

[メッセージ]

理事長のあいさつ、館長から一言

.....p1

[好生館ニュース]

第56回全国自治体病院協議会九州地方会議を開催 他

.....p2

[診療科の紹介]

放射線科、緩和ケア科、泌尿器科、リハビリテーション科

.....p3

看護部だより.....p4

お薬の豆知識、

知っていますか？検査の話.....p5

感染制御部だより、医療安全管理部だより、医療支援部だより.....p6

開放型病床登録医のご紹介、地域医療連携懇談会開催.....p7

患者・家族総合支援センターだより.....p8

新任医師の紹介、好生館ふれあい夏祭り.....p9

歴史コーナー、鍋島直正公記念好生館シンポジウム告知.....p10

外来医師一覧表.....p11





理事長のあいさつ

理事長

中川原 章

今年は、特に暑い夏でした。その夏も過ぎ、日に日に秋の気配が深まってきました。

その中であって、7月29日には第2回目の夏祭りを好生館の駐車場で開催し、嘉瀬有重地区を中心に約800名、好生館の患者・家族・職員を含めると約1,000人が参加して、楽しいひと時を過ごしました。また、これから地域の方々のための講演会も予定されています。このような地域社会との繋がりを深めながら、一方では、地域のかかりつけ医や病院との連携をさらに強固にするため、第3回地域医療連携懇談会を9月22日に開催しました。これからも好生館は、このような地域社会と

の関係を大切にし、地域医療を支えるという気概を持って、創設者鍋島直正公の教えに従い、世界を見て前進したいと思えます。

2年以上をかけて調査し、編集してきた「好生館180年記念誌」がまもなく刊行の予定です。多少盛り沢山になりましたが、多くの方々に読んでいただき、私達も、歴史に学びながら好生館の将来を考えていきたいと思えます。

前回の好生館だよりで働き方改革について述べましたが、現在、身を切るような改革を進めています。しかし、時代に合った改革は常に必要であり、ピンチをチャンスと捉え、より洗練された職場環境を作るために、職員一同頑張っていく所存です。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

館長から一言

館長

兒玉 謙次

本年7月より精神科リエゾンチームが発足しました。リエゾン(liaison)とは、フランス語で接触・連絡という意味ですが、リエゾンチームは入院患者の方々が抱える精神的問題について診療科からコンサルテーションを受け、診療科スタッフとカンファレンスを行うなど、まさに密に連絡・連携し、患者の精神状態の悪化の予防や早期発見に努めています。同時に、対応するスタッフや家族の教育・指導も行っています。

チームメンバーは、精神科医、精神科認定看護師、臨床心理士、薬剤師の4職種で、それぞれの専門性を発揮しながら、患者の方々に起こりうる不眠、不安、抑うつ、せん妄などの症状に対してサポートを行っています。また、週1回チームメンバーによるカンファレンスを行い、患者の精神症状や心理的問題について評価・検討し、治療方針を決めています。

チームは常に患者ならびに家族の皆さんの気持ちにより添いながら、安心して当館での診療を受けていただくことができる様に一丸となって頑張っています。

好生館は、今後もより質の高い精神医療を推進してまいりますので、ご理解とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



第56回 全国自治体病院協議会九州地方会議を開催

総務課 庶務係
係長 延岡 史朗



6月30日(金)にホテルニューオータニ佐賀において、標記会議を開催いたしました。会議には、全国自治体病院協議会連見会長はじめ、九州各県から46病院の他、来賓等を含め170名の方々に御出席頂きました。

総務省山邊係長、厚生労働省古橋主査、小熊副会長からの講演後、本部や九州各県支部から提出された数多くの議題について、各病院が抱える課題やこれからの自治体病院の進むべき方向性等を中心に、熱心な議論や情報交換が行われました。

最後に、特別講演として、佐賀大学特命教授の青木先生から「好生館の歴史と地域医療」と題して、佐賀藩や好生館が果たした



た偉大な歴史的役割等について講演を頂き、たいへん充実した会議となりました。

地域で緩和ケア講習会を開催しました

緩和ケアセンター
介護支援専門員 鬼崎 真澄



好生館では3月から9月までに富士町、久保田町他2カ所において、看取り講習会を開催しました。

どの会場も満員で、関心の高さがうかがえました。また、グループワークでは、「自分や家族の死に向き合う事は、自分らしく生きる事である」という意見等が多数出ました。

『看取り』は毎日の暮らしの延長であって、特別な事ではないと考える地域づくりに貢献していきたいと思えます。



好生館 News

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017佐賀開催

がん相談支援センター
副センター長 日浦 あつ子



『想いつながる24時間』をテーマに9月23日～24日に行われました。雨もなく熱中症もなく盛況に終了しました。医療班の出番はありませんでした。

青空講座では乳がんについて服部先生、前立腺癌について諸隈先生から講演していただきました。また、好生館テントでは禁煙外来や体脂肪測定コーナーなどを設け、数多くの方に利用していただきました。がん相談支援センターテントでは、県内拠点病院のがん専門相談員10名と県外3名、弁護士、好生館サバイバーの協力により相談や情報提供の活動を行いました。ご参加、ご声援ありがとうございました。



佐賀清和中学の職場体験学習が行われました

教育センター
副教育センター長 藤田 尚宏



佐賀清和中学校からの要請を受け、昨年度に続き教育センターが窓口となり「職場体験学習」の受け入れを行いました。

好生館を希望したのは、和田さん・深川さん・古川さんの3名で、将来は看護師やコメディカルスタッフになりたいとのことでした。

職場体験学習は、8月22日・23日に行われ、各病棟や外来の看護部門、救命救急センター、集中治療部、手術室、MEセンター、救急外来、緩和ケア病棟、検査部、リハビリテーション部、放射線部、薬剤部、栄養管理部等を見学する形で行われました。事前アンケートで要望の多かった脳神経外科のレクチャーを坂田部長から行っていただいたり、ドクターカーの動画視聴、ガイドライン2015に準拠したFamily&Friendsコースを受講するなど、中身の濃い体験学習になったようです。



放射線科

身体に優しい
画像下治療 (IVR) も
行っています!

放射線科
部長

相部 仁



放射線科では、X線透視、CT、超音波などの放射線画像を基にして、患者さんの身体にできるだけ負担がかからない医療を行っています。現在、当科には4名ものIVR専門医が勤務しており、佐賀県に多い肝細胞癌をはじめとする悪性腫瘍への動注治療や血管塞栓術、外傷性出血への血管塞栓術、大動脈瘤や動脈閉塞性疾患に対する血管内治療などを、当館診療科とのチーム医療で行っています。今後は、より多くの患者さんのQOL改善に役立つために、子宮筋腫に対する塞栓術(UAE)、経皮経食道胃管挿入術(PTEG)なども行っていく予定です。

緩和ケア科

早期からの緩和ケア

緩和ケア科
部長

小杉 寿文



緩和ケアは病気が進んで、抗癌剤もできなくなってから受診するところと思われがちですが、実際には異なります。がんという病気が診断された時点で、身体や心のつらい症状、経済的な問題などがあればそれはすべて緩和ケアが必要です。日本ではがんかエイズでしか緩和ケアに関する診療は保険で認められていませんが、海外では心不全や神経難病、認知症も緩和ケアの重要な対象疾患とされています。好生館ではいつでも緩和ケアを受けることができますので、主治医またはがん相談支援センターにご相談ください。

泌尿器科

全国ワースト1位佐賀県
(前立腺癌死亡率ランキング)

泌尿器科
部長

徳田 倫章



2016年の日本人男性のがんの罹患数予測では、様々ながんの中で前立腺癌が第1位となっています。前立腺癌の早期発見と根治にはPSA検査が大変有用で、佐賀県内の大部分の市町村でも検診を導入しています。しかし、好発年齢の50~80歳男性の検診受診率が佐賀県では約10%と非常に低いため、依然として、多発転移を伴った進行前立腺癌の状態で見つかる患者さんが多く、前立腺癌で亡くなる方が多いのが現実です。2012年、国立がん研究センターがん対策情報センターの調査「人口動態統計によるがん死亡データ」によって全国都道府県の前立腺癌死亡率が明らかになっています。75歳未満男性における前立腺癌による死亡数率が最も高いのは佐賀県で、人口10万人あたり2.43人。2位以下は青森県、沖縄県、宮崎県、秋田県となっています。佐賀県としては、前立腺癌の早期発見と根治が重要であり急務です。

リハビリ
テーション科

患者さんが早く元気に
なるように...

リハビリテーション科
部長

山之内 直也



リハビリテーション(以下リハビリ)という言葉は、老若男女を問わず浸透していますが、実際に見たことがある人は少ないのではないのでしょうか。

好生館でもリハビリをしています。理学療法士17人、作業療法士8人、言語聴覚士4人と一緒にがんばっています。

時折、「好生館でリハビリしたい」というお問い合わせをいただきます。当館では、一部の例外を除いて、外来でリハビリはしていません。入院患者さんの状態が安定して、近くの病院でリハビリができるようにするのが、当館の役割であると考えてからです。そのために入院患者さんを中心にリハビリしています。

リハビリしないで済むのが一番よいのですが、万が一、そのような状況になって好生館に入院した場合には、スタッフ一丸となってサポートして参ります。皆様のご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。



ふれあい看護体験を開催しました

ふれあい看護体験は、高校生に看護体験や患者さんとのふれあいを通して、看護の仕事を知ってもらうためのものです。県内の県立・私立高校から24名の高校生を迎え、7月28日（金）に開催しました。今年は「手洗い体験」と「AEDと心肺蘇生体験」を主に企画しました。

「手洗い体験」では、蛍光塗料を塗った後に手洗いを行い、指先や指の間などの洗い残しをブラックライトにあてて確認しました。学生は「いつもより念入りに洗ったのに」と驚いていました。普段は見えない手洗い後の手の汚れの程度を見ることができ、正しい手洗いの方法と重要性を再確認しました。病棟では正しく手洗いを行い、患者さんへ食事を配膳しました。「AEDと心肺蘇生体験」では、「万が一の場合に学んだことを活かしたい」と真剣な表情で取り組んでいました。その他、洗髪や足浴などの看護体験や病院食の検食などを行い、看護師が実際に働いている場面を見学し、「看護師になりたいという気持ちが強まった」との声が聞かれました。



小児病棟で夏祭りを開催しました



7月29日に地域と交流を目的に「好生館夏祭り」が開催されました。小児病棟でも8月3日に夏祭りを開催しました。入院中慣れない環境で治療や処置を受けている子どもたちが、夏祭りを通して季節を感じながら楽しい時間を過ごすことができるよう企画しました。綿菓子作りや魚型醤油差しに色をつけた金魚すくい・紙コップで作ったユニークヨーヨー釣りなど誰もが楽しめる遊びを行い、11ヶ月～11歳の患児たちから、年齢問わず「楽しい」という言葉が聞かれました。病状のため参加できない患児へは折り紙の手作りメダルをプレゼントし大変喜ばれました。短い時間ではありましたが、患児・家族が笑顔で過ごせ楽しい夏祭りとなりました。



集中ケアのスペシャリストが誕生しました

ICU副看護師長
梶原 早苗



今年度「集中ケア認定看護師」を取得しました。「集中ケア」は、あまり耳馴染みのない言葉ではないかと思いますが、「集中ケア」は、生命の危機状態にある患者さんの病態変化を予測しながら重篤化を予防し、合併症の予防や回復のための早期リハビリテーションを行っています。集中治療部が掲げる「佐賀県医療の最後の砦」として、生命の危機状態にある患者さん、またそのご家族に、医師や薬剤師、理学療法士、栄養士、臨床工学技士など多職種と協働し、より良い治療・看護ケアを提供できるよう努力して参ります。





お薬の豆知識

抗微生物薬 適正使用の手引き

薬剤部
感染制御認定薬剤師
小塩 和人



国際的にも抗微生物薬の不適正な使用による「薬剤耐性菌の発生とそれに伴う感染症の増加」が大きな課題となり、厚生労働省から適正使用の手引きが公表されました。

今回は外来における急性気道感染症・急性下痢症について記載されており、急性副鼻腔炎でも軽症の場合には抗菌薬投与を行わないことや、急性下痢症では水分摂取を励行し基本的に

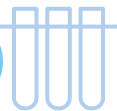
は対症療法を行うことなどを推奨しています。

また、薬剤師による患者・家族への説明の重要性も記載されています。私たちは手引きに沿って抗微生物薬適正使用を推進しています。例えば、受診しても現時点では抗菌薬の必要性がないため抗菌薬を処方されない場合もあります。理由が不明な場合には薬剤師に聞いてみると納得しやすいかもしれません。



知っていますか？

検査の話



感染症を起こす細菌はたくさんいますが、菌にもそれぞれ特徴があります。菌の種類によって、「効く薬」と「効かない薬」があり、本来効くはずの抗菌薬が効かなくなってしまう菌を「薬剤耐性菌」といいます。

薬剤耐性菌は、治療の過程で生まれることがあります。ずっと同じ薬を飲んでいると、その薬に耐性をもった菌が生まれやすくなります。たくさんの菌に使える強い薬を飲み続けていると、その薬に耐性をもった菌が生まれて、使える薬がどんどん少なくなり、最終的に使える薬がなくなってしまいます。

薬剤耐性菌かどうかを見ただ目で判断するこ

薬剤感受性検査について

検査部 細菌検査部門
臨床検査技師
香月 万葉



とは難しく、「薬剤感受性検査」というものを実施します。この検査は、患者さんの喀痰や尿などから検出された菌を、試験管の中で、多種多様な抗菌薬とそれぞれ反応させ、どの薬がどれくらいの濃度で効くのかを検査します。その結果をみて抗菌薬を決めたり、変えたりすることで、不適切な薬を飲み続けることがないようにしています。適切な抗菌薬の使用は薬剤耐性菌の減少にも繋がります。少しでも薬剤耐性菌を減らすことが現代の医療の課題となっています。



感染制御部だより

冬の食中毒予防

感染制御部
感染管理認定看護師 三好 恵美子



今年は腸管出血性大腸菌O-157による食中毒がマスコミに度々取り上げられています。食中毒の原因は様々ありますが、主なものはO-157などの細菌によるものとノロウイルスなどのウイルスによるものです。毎年秋から冬にかけての食中毒はウイルスによるもの

のが多く発生しています。

食中毒の3原則は、「食中毒菌を付けない・増やさない・やっつける」ですが、ウイルスによる食中毒は、「ウイルスを持ち込まない・広げない・付けない・やっつける」の4つのことが原則となります。具体的には食品の加熱や調理器具の消毒、手洗いなどが重要です。手を介して食品や調理器具などにウイルスが広がることを防ぐためには、トイレに行った後、食品を扱う前後、調理前などは入念に手を洗いましょう。

医療安全管理部だより

『医療安全全国協働行動』の参加施設になりました

医療安全管理部
医療安全管理者(GRM) 川内 ひとみ



「医療安全全国協働行動」とは、患者の安全を守り患者と医療者がともに安心して治療、ケアに専念できる医療環境づくりを促進することです。全国の医療機関・医療従事者・医療団体が立場や専門を超えて協力のもと、医療事故の低減を図ることを目標に活動しています。右記の10行動目標があります。



10行動目標



好生館の重点目標は

1. 危険薬の誤投与防止
2. 危険手技の安全な実施
(中心静脈カテーテル穿刺挿入手技に関する安全指針の遵守)
3. 事例要因分析から改善へ
の3つを掲げて活動しています。

医療支援部だより

職場体験学生受け入れ!

MEセンター
臨床工学技士長 成田 安志



7月の3日間に高校生の職場体験(インターンシップ)を受け入れました。体験学生さんは、なんと『佐賀工業高校・ラグビー部』と聞きまして、びっくりしました。『臨床工学技士』と言う職業を目標とされていた訳ではありませんが、今回の様に高校生達がこのような体験を通して、医療現場を見て頂く事で、我々、臨床工学技士の仕事内容等を理解して頂けたら、こんなに嬉しい事はありません。

このような職場体験は、以前の病院環境ではほぼ不可能でしたが、施設・環境が新しくなり、今後もどんどん受け入れていきたいと思っていますので、希望される方が近くにいらっしゃいましたら、どうぞお気軽に御連絡下さい。



(左)成田、(中)学生さん、(右)総務課・中山

県内初! ロボットスーツHAL® 医療用を導入しました

リハビリテーションセンター
リハビリ士長 片淵 宏輔



4月より、県内で初めてロボットスーツHAL®医療用下肢タイプを導入し、保険適用となる神経・筋難病疾患に対して、歩行機能改善を目指した訓練を開始しました。

HAL®は、身体に装着することによって、装着者が身体を動かそうとしたときに発生する「生体電位信号」を皮膚表面に貼り付けた電極からセンサーで読み取り、それに応じて下肢の動きを補助し、「立つ」や「歩く」等の機能を改善する治療ロボット機器です。

より自立したその人らしい生活を送れるように、患者さんの「歩きたい」という想いに応えていきます。



開放型病床登録医のご紹介

医療法人
高橋内科

〒845-0014
小城市小城町晴気200-3
TEL 0952-72-1100

理事長
高橋 明



当院は、平成4年開院の県果樹試験場北側の無床診療所です。小城は、桜、蛍、羊羹、鯉、酒がお勧めです。近くには、小城市民病院、ひらまつ病院があり、様々な患者さんを御診療・御指導いただいております。高度医療、最先端医療が必要な時には、佐賀の医療の最後の砦・好生館をお願いいたしております。適確な御指導もいただき、患者さんを通じて勉強させていただいております。今後とも、よろしく願いたします。



内藤医院 北山診療所

〒840-0532
佐賀市富士町大野1060-23
TEL 0952-57-2226

院長
内藤 博文



嘉瀬川ダム上流佐賀市北端の山間診療所。昭和26年に父、光二に始まり平成19年、博文院長より内藤医院北山診療所になりました。予想通り人口減少と医療費削減のあおりで生かさず殺さずの状態です。福岡大学病院麻酔科専門医と痛みの治療などで、外科系全般と循環器科・呼吸器科などの接点で学び、現在も紹介先の先生方からのご指導戴き日々学んで居ります。多種多様の加齢性疾患、神経系疾患、難病奇病、土地柄多い切傷外傷縫合や外傷骨折も多くあり、魅力が尽きることはありません。これも断ることがない高次医療機関があればこそ可能と信頼し感謝しています。Drヘリの派遣いつも有難うございます。



松本医院

〒842-0104
神埼郡吉野ヶ里町三津751-9
TEL 0952-52-4185

院長
松本 治



当院は祖父の代に開業し、昭和61年に父が現在の病院へ建て替えて継承しました。一般内科として外来診療を続けてきましたが寄る年波の影響のため診療継続が困難となり、これまで地域の皆様の拠り所となっている医院を畳むに忍びなく松本医院の3代目として診療を継承致しました。まだまだ若輩者ではございますが小児から高齢者まで総合医療、学校医や産業医など含め地域医療の一端を担うべく邁進したいと存じます。



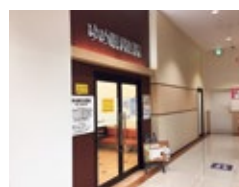
ゆめ眼科医院

〒849-0919
佐賀市兵庫北5丁目14-1
ゆめタウン佐賀2F
TEL/FAX 0952-31-5033

院長
伊藤 正吾



ゆめタウン佐賀2階に開業して約9年となります。当院では土日も診療させて頂くなど、地域の医療に微力ながら貢献したいという思いで日々努力してまいりました。精査・処置などが困難な時には好生館に紹介させて頂いております。受け入れ後の報告書を拝見させて頂き、非常に勉強させて頂いております。今後とも好生館の発展を願っております。



地域医療連携懇談会を開催しました

地域医療連携センター
副センター長 園田 美佐枝

9月22日、地域医療連携懇談会を開催しました。73医療機関から172名の方々に参加して頂き、ありがとうございました。第一部では好生館の地域医療連携と題して、当館の医師3名からホットライン運用についての説明があり、また広域消防課の田中様から佐賀県の救急搬送の現状について報告していただきました。第二部は、飲食しながら意見交換したり、ご意見・ご要望をお聞きすることができ、日頃、文書や電話の声



だけの関係から、顔の見える関係作りをすることができました。お互い相手の顔を知ること、連携をより深めることができるのではないかと感じました。



地域医療連携センターだより 地域医療従事者研修会を開催しました

7月11日に『地域で支える在宅医療』というテーマで地域医療従事者研修会を開催しました。看護協会訪問看護ステーションの馬場美代子所長より、訪問看護の立場から利用者のセルフケアを重視した生きる力、終わる力に焦点を当てた看護の実際などを話して頂きました。またコールメディカルクリニック福岡の山口宗孝先生から、在宅医療に携わるきっかけとなった患者さんの紹介や症例をあげながら福岡での診療の実際

地域医療連携センター

副センター長 園田 美佐枝



を、講演して頂きました。講演の最後に、地域連携に求めるもの、それは顔の見える関係作りに尽きると締め上げて頂きました。

連絡先 地域医療連携センター (TEL:0952-28-1495)

<県民公開講座のお知らせ>

テーマ 『心臓病から命を守る』

日時 10月28日(土)13:00~16:00

場所 佐賀県医療センター好生館
2階 多目的ホール



一般・がん相談支援センターだより SHARE-CST研修会を開催しました

一般相談支援センター

副センター長 河内 志津子



9月30日(土)10月1日(日)「がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会(CST研修会)」が好生館2階 多目的ホールにて、開催されました。がん医療における「悪い知らせを伝える」際のコミュニ

ケーション・スキルの習得は、患者にとっても医師にとっても重要です。SHARE-CST研修会は、がん医療に携わる医師を対象に、患者が納得安心して治療方針を決定できるように、患者と医師との良好なコミュニケーションを築くための研修です。院内2名院外2名の医師、院内外より講師、ファシリテーターなど6名の参加があり充実した研修になりました。



連絡先 一般相談支援センター (TEL:0952-28-1158)

平成29年度「こどものがん治療を支援する研修会(第一部)」& 「こどもの頃からの成人のがん予防教育にかかる研修会(第二部)」を開催!

がん相談支援センター

認定がん専門相談員・係長・MSW

大石 美穂



8月23日(水)に、当館にて上記研修を開催しました。

第一部は厚生労働省の基本計画に則り、小児がんのこどもの支援を会場全体で考えました。これまで当館の研修に参加した児童・生徒4名がシンポジストとして登壇し「がんの仲間を正しく理解するためには、がんの知識を深める必要がある」等、意見や感想として話して頂きました。

また、第二部では当館の小児科部長 稲田浩子先生が、

文部科学省で取り組みが展開されている「こどもの頃からの成人のがん予防教育」を視野に入れ、がんの基礎知識を小児科医の立場から講義を行い、学校での教育活動の参考にして頂く契機となりました。

新聞にもとりあげて頂いたことで、行政や教育現場と民間の協働が地域社会のスタンダードとして「がんに向き合う社会」が構築されることを願っています。



連絡先 がん相談支援センター
(TEL:0952-28-1210 FAX:0952-28-1250)



新任医師の紹介
10月

10月1日付



糖尿病代謝内科
医師
江頭 絵里奈

10月1日付



消化器内科
医師
白井 慎平

10月1日付



消化器内科
医師
行元 崇浩

10月1日付



脳神経外科
医員
桃崎 明彦

10月1日付



消化器外科
医員
中村 宏彰



「第2回 好生館ふれあい夏祭り」



平成25年度にここ嘉瀬の地に移転してきた「佐賀県医療センター好生館」。住民の方々と好生館とが交流を図ることにより、新たな地域コミュニティを作ろうと、昨年夏祭りが始まり、今回2回目を迎えることができました。

今年は焼きそばやカレー、かき氷、ヨーヨーすくいなど、昨年を上回る模擬店が出店し、特に、綿あめや金魚すくいのテントには、常に長い列ができるな

ど、祭りを大いに盛り上げてくれました。また、今年は「ウイントスふあふあ」が登場するなど、ちびっ子たちにも大人気でした。館内においても、好生館医師等による健康相談を実施しました。ステージ上では、コーラの早飲み大会やカラオケ大会が行われ、婦人会等による町民盆踊りでは大盛り上がりを見せました。そして祭りの最後は、お楽しみ抽選会で幕を下ろしました。

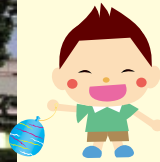
当日は、炎天下にもかかわらず多くの嘉瀬地区の方々にご来場いただきありがとうございました。また、夏祭りの準備にご尽力いただきました地元自治会をはじめ、老人クラブや婦人会等関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。



『第2回 好生館ふれあい夏祭り』



『健康相談』



『ヨーヨーすくい』



『わたあめ』



『カラオケ大会表彰式』



『町民盆踊り』



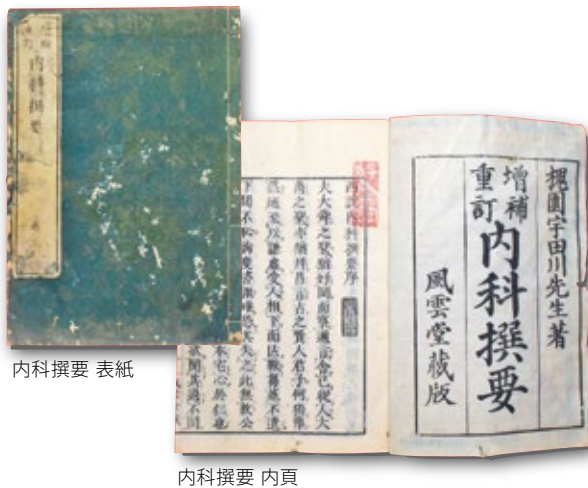
好生館に残る 古い医学書

副館長
林田 潔



好生館には、幕末から明治にかけて教科書として使われていた多くの医学書(原著、翻訳)が残っており、貴重な資料となっています。蔵書印を見ると、「好生館」「医学寮」の両方の蔵書印があり、医学寮と、好生館が同じ意味で使われていたようです。緒方洪庵や伊東玄朴など著名な日本の医学の先駆者たちが訳した教科書が沢山残っており、同じ本が複数保存されていることから、好生館蔵書の教科書として皆が利用していたものと思われます。

また医学だけではなく、薬学、物理学、化学、語学等多くの方々の専門書(原書、翻訳)も沢山残されており、日本のトップレベルにあった当時の佐賀の医学教育の一端がうかがえます。



内科撰要 表紙

内科撰要 内頁

好生館創立記念事業 第2回 鍋島直正公記念 好生館シンポジウムを開催します

理事室 係長
堤 由起子



好生館は、1834年(天保5年)第10代佐賀藩主鍋島直正公により医学館・医学寮が佐賀市八幡小路に創設されたことに始まります。

好生館創立記念日を迎えるに当たり、直正公の精神を広く皆様に知っていただくとともに、地域医療の中心的役割を担う病院として、最新の医療提供と教育研究の更なる発展を願い、公益財団法人鍋島報効会との共催で好生館シンポジウムを開催します。今年は、「武士の家計簿」の著者としておなじみの歴史学者 磯田道史氏をお迎えし、ご講演いただく予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

- ・開催日時：H29年12月2日(土) 14:00～16:30
- ・会場：ホテルニューオータニ佐賀
- ・申込受付期間：11月1日(水)～11月15日(水)
- ・申込方法：お申込みは先着順となり、定員に達したところで締め切らせていただきます。
詳しくは、好生館ホームページ (<http://www.koseikan.jp/>) 又は下記までご連絡ください。
- ・お問い合わせ先：佐賀県医療センター好生館 鍋島直正公記念好生館シンポジウム事務局
TEL：0952-28-1195 (平日8:30～17:15)

外来医師一覧表

(平成29年10月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。

電話：0952-24-2171 (おかけ間違いのないようお気を付け下さい。)

診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。(受付時間は8時30分～11時です。)土・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患	池田 園子	松石 英城	池田 園子	松石 英城	池田 園子
		再来	松石 英城	池田 園子	松石 英城	—	—
	呼吸器内科	新患	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
		再来	久保田 未央	加藤 剛	岩永 健太郎/小宮 奈津子	加藤 剛	岩永 健太郎
	肝胆膵内科		河口 康典/中下 俊哉	古賀 風太	中下 俊哉/大座 紀子	河口 康典/大座 紀子	河口 康典/古賀 風太
	消化器内科	新患(午前)	行元 崇浩	富永 直之	川村 紗奈江	白井 慎平	白井 慎平
		新患(午後)	行元 崇浩	富永 直之/川村 紗奈江	川村 紗奈江	白井 慎平	富永 直之/川村 紗奈江
		再来	富永 直之	緒方 伸一	富永 直之	緒方 伸一	行元 崇浩
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	富永 直之(午前)	—
	血液内科	新患	近藤 誠司	佐野 遥菜	久富 崇	近藤 誠司	*久富 崇(第1-3:5金曜)/ *佐野 遥菜(第2-4金曜)
		再来	佐野 遥菜	権藤 久司/久富 崇	近藤 誠司	久富 崇/権藤久司+ワグ外来(午後)	権藤 久司
	腎臓内科		力武 修一	中村 恵	—	力武 修一	中村 恵
	糖尿病代謝内科		吉村 達	吉村 達	江頭 絵里奈	吉村 達	—
	腫瘍内科	新患/コンサルト	大塚 大河	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	大塚 大河
		再来	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/大塚 大河
	感染症(予約・紹介)		福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
	膠原病・リウマチ (14:00～16:00)		(第2・第4 金曜日)				多田 芳史
	消化管内視鏡 (責任者)		緒方 伸一	河口 康典	緒方 伸一	富永 直之	緒方 伸一
	気管支鏡		加藤 剛	—	小宮 奈津子	久保田 未央	—
	腹部エコー		大座 紀子 古賀 風太	*中下 俊哉/ *大座 紀子 (*隔週で交代)	河口 康典 古賀 風太	中下 俊哉	中下 俊哉 大座 紀子
透 析		中村 恵	力武 修一	中村 恵/力武 修一	中村 恵	力武 修一	
小 児 科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)	—	—	神経外来(当館医師) 内分泌外来	—	血液外来	
	午 後 (完全予約制)	アレルギー外来(第1・第3) 乳児健診 予防接種	神経外来(当館医師) 神経外来(医大医師 第2・4) 内分泌外来/予防接種	循環器外来 予防接種	1ヶ月健診	アレルギー外来 心身症外来 血液外来	
循環器内科	午 前	江島 健一 中城 総一	吉田 敬規 中村 郁子	吉田 敬規 柿野 貴盛	江島 健一 中城 総一	林田 潔 中村 郁子/三上 剛	
	不整脈外来 (午前)新患のみ完全予約制	—	—	不整脈外来新患	—	—	
	ペースメーカー外来(午前・予約制)	—	—	—	—	—	
	午 後	検 査	心カテ	心カテ(午前・午後)	心カテ	検 査	
精 神 科	午 前(完全予約制)	福田 貴博	福田 貴博	福田 貴博	福田 貴博	福田 貴博	
	再診 月～金 8:30～12:00 初診 月～金 12:00～13:00	石井 博修	非常勤医師	石井 博修	石井 博修	石井 博修	
各病棟(精神科コンサルテーション・リエゾン)							
放射線科	放 射 線 診 断 ・IVR	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	
	放 射 線 治 療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内 科	午 前	新患/再来	高島 洋	高島 洋	美奈川 拡	高島 洋	
	午 後 (14:00～16:00)	検査・処置	—	回 診	予約制 もの忘れ外来 高島 洋	検査・処置	
脳血管内科		バーキンソン病外来(予約制)	—	—	—	—	
緩和ケア科	午 前(再診)	完全予約制	—	小杉 寿文/鶴池 直邦 久保 麻悠子	—	—	
	午 後(新患)	—	—	—	小杉 寿文/鶴池 直邦 久保 麻悠子	—	
禁煙外来		午 後	完全予約制	岩永 健太郎(14:30～16:30)	林田 潔(13:30～15:30)	寺崎 泰宏(14:30～16:30)	
外 科	消化器外科	新患	田中 聡也	平木 将紹	久保 洋	池田 貯	北原 賢二/田中 聡也
		再来	田中 聡也	平木 将紹/山田 浩平	池田 貯/平木 将紹	池田 貯	田中 聡也/佐藤 清治
	肝胆膵外科	新患	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	久保 洋	北原 賢二
		再来	—	—	—	—	—
	乳腺外科	—	手 術	白羽根 健吾/服部 正見	手 術	白羽根 健吾/服部 正見	
	呼吸器外科	新患	—	寺崎 泰宏	—	寺崎 泰宏	—
		再来	手 術	寺崎 泰宏/宮本 詩子/岡本 祐介	手 術	寺崎 泰宏/岡本 祐介/宮本 詩子	手 術
小児外科	新患	村守 克己	—	井上 貴之	福田 篤久	—	
	再来	福田 篤久	手 術	—	村守 克己	手 術	
眼 科	午 前	手 術	手術	手術	手術	手術	
	午 後	検 査	手術	検 査	手術	手術	
産婦人科	午 前	婦人科	金井 督之/八並 直子	安永 牧生/川崎 いずみ/大原 良一	—	—	
	午 後	産科	内野 美穂/室 雅巳	室 雅巳/内野 美穂	手術日 (急患のみ担当者)	川崎 いずみ/大原 良一/金井 督之 八並 直子 室 雅巳	
(14:00～16:00) 午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。							
耳 鼻 いんこう科	午 前	手 術	宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太	手 術	宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太	宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太	
	午 後	—	回診・検査	—	回診・検査	回診・検査	
泌尿器科	午 前	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/山下 拓也	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/高松 太	手 術	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/山下 拓也	手 術	
	専門外来	腎移植	腎移植	—	腎移植	—	
歯科口腔 外科	午前・午後	完全予約制	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	
形成外科	午 前	増本 和之	—	回 診	—	藤井 達哉	
皮膚科	午 後	外来手術	—	フットケア外来	—	外来手術	
	—	—	—	—	—	—	
整形外科	一般整形	前 隆男/塚本 伸章 屋良 卓郎/矢野 良平	手 術	前 隆男/小宮 紀宏 矢野 良平/当 番 医	手 術	塚本 伸章/小宮 紀宏 屋良 卓郎	
	脊 椎	加藤 剛	—	加藤 剛	—	加藤 剛	
脳神経外 科	午 前	松本 健一	坂田 修治	坂田 修治	—	溝上 泰一朗	
	午後 専門外来	予約のみ	(水頭症外来)坂田 修治	—	(脳動脈瘤外来)松本 健一	手 術 (脳血管内治療外来)溝上 泰一朗	
心臓血管外 科	午 前	—	内藤 光三 里	—	内藤 光三 里	—	
	午 後	手 術	回 診	手 術	回 診	手 術	
人 間 ドック	—	林田 潔	井之口 香映子	権藤 久司	権藤 久司	井之口 香映子	
	脳ドック	高島 洋	坂田 修治	杉森 宏	林田 潔	高島 洋	
心臓ドック		—	—	—	—	—	
看護専門外来	完全予約制	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	